



Title	河田潤一教授 中尾敏充教授 略歴・主要著作目録
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2013, 63(3-4), p. 647-666
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67974
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

河田
中尾

潤一
敏充
教授
教授

略歴
・
主要著作目録

河田潤一教授 略歴

昭和三三年	九月二五日	神戸市に出生
昭和四六年	三月三日	関西学院大学法学部政治学科卒業
昭和四八年	三月三日	神戸大学大学院法学研究科公法専攻修士課程修了
昭和五一年	三月三日	神戸大学大学院法学研究科公法専攻博士課程後期課程単位修得退学
昭和五一年	四月一日	甲南大学法学部講師
昭和五三年	四月一日	甲南大学法学部助教授
昭和五三年	八月	米国ウイスコンシン大学政治学部 Honorary Fellow (昭和五四年七月まで)
昭和五四年	八月	米国イェール大学政治学部 Visiting Fellow (昭和五五年六月まで)
昭和五五年	六月	米国スタンフォード大学教育大学院 Guest Scholar (昭和五五年九月まで)
昭和五九年	四月一日	甲南大学法学部教授
昭和五九年	四月	英国エセックス大学政治学部 Visiting Fellow (昭和五九年九月まで)
昭和五九年	六月	欧州大学院大学 Visiting Fellow (昭和五九年七月まで)
平成二年	四月	米国ハーバード大学教育大学院 Visiting Scholar 及びサチュエッツ工科大学政治学部 Visiting Scholar (平成二年九月まで)
平成五年	四月一日	甲南学園国際交流センター長 (平成七年三月三一日まで)
平成一〇年	四月一日	大阪大学法学部教授
平成一〇年	六月	日本比較政治学会理事 (平成一六年六月まで)
平成一〇年	一〇月	日本政治学会理事 (平成一二年九月まで)
平成一一年	四月一日	大阪大学大学院法学研究科教授
平成一二年	八月	日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員 (平成一四年七月まで)
平成一四年	一〇月	日本政治学会理事 (平成二二年九月まで)
平成一六年	三月一日	米国カリフォルニア大学サンタクルス校政治学部 Visiting Scholar 及びカリフォルニア大学バークレイ校アフリカ系アメリカ研究学部 Visiting Scholar (平成一六年三月三一日まで)

平成一六年	四月	大阪大学財務・会計室員（平成一八年三月まで）
平成一六年	七月	日本比較政治学会会長（平成一八年七月まで）
平成一七年	一月	日本学術振興会平成一七年度科学研究委員会専門委員（平成一七年二月まで）
平成一八年	一月	日本学術振興会平成一八年度科学研究委員会専門委員（平成一八年二月まで）
平成一八年	三月	日本学術会議（第二〇期）連携会員（平成二〇年九月まで）
平成一八年	四月	日本政治学会平成一八年度文献委員会委員長（平成一九年三月まで）
平成一九年	四月	日本政治学会平成一九年度年報（第二号）委員会委員長（平成二〇年三月まで）
平成二〇年	一〇月	日本学術会議（第二期）連携会員（平成二三年六月まで）
平成二〇年	十一月	日本学術会議（第二期）政治学委員会「政治学展望分科会」委員長（平成二二年一〇月まで）
平成二二年	三月	日本政治社会学会理事（平成二五年三月まで）
平成二三年	四月	日本学術会議東日本大震災対策委員会「被災地域の復興グラウンド・デザイン分科会」委員（平成二三年九月まで）
平成二三年	六月	日本学術会議（第二期）会員（第一部）（平成二三年九月まで）
平成二三年	一〇月	日本学術会議（第二期）会員（第一部）（現在に至る）
平成二三年	一〇月	日本学術会議政治学委員会委員（現在に至る）
平成二三年	一〇月	日本学術会議政治学委員会「比較政治分科会」委員長（現在に至る）
平成二三年	一〇月	日本学術会議科学と社会委員会「科学力増進分科会」委員（現在に至る）
平成二五年	三月三十一日	大阪大学定年退職
平成二五年	四月一日	大阪大学名誉教授
平成二五年	四月一日	神戸学院大学法学部教授（現在に至る）
平成二五年	四月	日本学術会議政治学委員会「政治学分野の参照基準検討分科会」委員（現在に至る）
平成二五年	四月	日本政治社会学会顧問（現在に至る）

主要著作目録

I 著書

- 『比較政治の分析枠組』（共著）
ミネルヴァ書房 一九八六年
- 『比較政治と政治文化』（単著）
ミネルヴァ書房 一九八九年
- 『現代政治学入門』（編著）
ミネルヴァ書房 一九九二年
- 『政党派閥』（共編著）
ミネルヴァ書房 一九九六年
- Political Psychology in Japan（共著）
Nova Science 一九九九年
- 『ハンドブック政治心理学』（共編著）
北樹出版 二〇〇三年
- 『日本政治』（共著）
大阪大学出版会 二〇〇五年
- Comparing Political Corruption and Clientelism（編著）
Ashgate 二〇〇六年
- 『排除と包摂の政治学——越境、アイデンティティ、そして希望（年報政治学二〇〇七II）』（編著）
木鐸社 二〇〇七年
- 『汚職・腐敗・クライエントリズムの政治学』（編著）
ミネルヴァ書房 二〇〇八年
- ### II 論説
- 『政治的社会化と媒体』
六甲台論集二二卷一—四号 一九七四年
- 『Working Class Tories をめぐる諸問題（一）』
六甲台論集二二卷四号 一九七五年
- 『Working Class Tories をめぐる諸問題（二）』
六甲台論集二二卷一号 一九七五年
- 『ワーキング・クラス・トーリーズ』についての一考察
甲南法学一七卷一号 一九七七年
- 『イギリス政治文化に関する一考察——『デファレンス』の評価をめぐって』
甲南法学一八卷三・四号 一九七八年
- 『現代フランスにおける政治的社会化に関する一考察』
甲南法学二二卷一—四号 一九八二年

「恩顧主義に関する一考察」

『A Preliminary Work for Comparative Political Clientelism』

「エセックス大学イギリス選挙研究」

『The Child's Discovery and Development of 'Political World': A Note on the United States』

「政治的クライエンテリズム」

「社会的クリーヴィッジと政党システムの変化」

「エドウィン・L・ゴドキンとニューヨーク『ネイション』」

『Political Socialization in Contemporary Japan』

「政治学を学ぶために」

「権力の政治学——政治権力と権力の癒着」

「市民の政治学——政治参加とデモクラシー」

「利権の政治学——政党政治と政治腐敗」

「ハワイにおける観光業の展開と行方」

「政党派閥とクライエンテリズム」

「テレビ政治のアメリカ的展開——『アメリカ・モデル』の普遍性と限界」

『「公的争点分析アプローチ」と市民教育——ハーバード社会科学プロジェクト シェクトをめぐる』

『Socialization for Citizenship: Civic Education and Political Attitudes in Japan』

甲南法学二四巻一号 一九八三年

甲南法学二五巻一号 一九八四年

甲南法学二六巻一号 一九八五年

甲南法学二六巻二・三号 一九八六年

『比較政治の分析枠組』

『比較政治の分析枠組』

甲南法学二八巻一号 一九八七年

International Political Science Review 一九八七年

Vol. 8, No. 3.

『現代政治学入門』 一九九二年

『現代政治学入門』 一九九二年

『現代政治学入門』 一九九二年

『現代政治学入門』 一九九二年

甲南法学三二巻三・四号 一九九二年

『政党派閥』 一九九六年

甲南法学三三巻三・四号 一九九八年

甲南法学三三巻三・四号 一九九八年

姫路法学二五・二六号 一九九九年

Political Psychology in Japan 一九九九年

- 「Heurs et malheurs du clientélisme : Etude comparée de l'Italie et du Japon」 (Mario Caciagli との共同執筆)
「政治学教育の意義と方法」
- 「アメリカ都市部における学校改革の政治学——『市民能力と都市教育プロジェクト』の紹介を中心として」
「Social Responsibility of Business Enterprises : A Political View」
- 「政治的社会化」
「マフィア・暴力的腐敗・非市民性」
「戦後民主主義と市民社会——『五五体制』の軌跡と『市民』をめぐる政治」
「(ブラック・エンパワーメント) 小論」
「Mafia, Corrupted Violence and Inotivism」
- 「マフィア・暴力的腐敗・非市民性——戦後シチリアの経験を中心に」
「社会資本、信頼と民主主義」
「Social Capital, Trust, and Democracy: Asia in Comparative Perspectives」
「コミュニティ関与と学校改革の政治学——戦後アメリカにおける二つの事例紹介を中心として」
- Revue Française de Science Politique 二〇〇一年
Vol. 51, No. 4
「二世紀の法と政治 (大阪大学法学部創立五〇周年記念論文集)」
阪大法学五二巻二・四号 二〇〇二年
- 「企業・経営の社会的責任」に関する学際的研究 (甲南大学総合研究所編) 『ハンドブック政治心理学』 二〇〇三年
阪大法学五三巻二・四号 二〇〇三年
「日本政治」 二〇〇五年
- 阪大法学五五巻二・四号 二〇〇五年
Comparing Political Corruption and Clientelism 二〇〇六年
「汚職・腐敗・クライエントリズムの政治学」 二〇〇八年
阪大法学五九巻二・四号 二〇〇九年
研究双書 (関西大学経済・政治研究所) 二〇一〇年
甲南法学五〇巻四号 二〇一〇年

- 「The End of Liberal Democratic Party-led Politics?: From the Point of View of Political Clientelism and Corruption」
Osaka University Law Review No. 58, 二〇一〇年
- 「Interview with Philippe C. Schmitter: A Trian of Comparative Politics」
甲南法学五一卷三・四号 二〇一一年
- 「市民教育の政治学——アメリカ合衆国を中心として」
阪大法学六一卷一号 二〇一一年
- 「グローバルゼーションの影響下で市民社会を賦活する」
国際高等研究所報告書一〇〇一号 二〇一一年
- 「産業地域事業団 (IAF) のプログレッシブ・ポリテイクス——アメリカにおける草の根民主主義の実践に向けて」
阪大法学六一卷三・四号 二〇一一年
- 「政治のことば」
日本語学三一巻四号 二〇一二年
- 「震災復興・減災の政治社会学——『社会資本 (social capital)』論か
の考へる」
阪大法学六二卷三・四号 二〇一二年
- 「The Meta-Language of Politics, Culture and Integrity in Japan」
Human Affairs Vol. 23, No. 2, 二〇一三年
- 「社会資本 (social capital) について考える」
学術の動向一八巻五号 二〇一三年
- III 翻訳・書評・事典執筆
- 「P・A・アラム『戦後ナボリの政治と社会』(書評)
六甲台論集二二巻二号 一九七五年
- 「J・ペトラス、H・セメルマン・メリノ『反乱する農民——チリに
関する一つの事例研究、一九六五—一九七二』(書評)
六甲台論集二二巻四号 一九七六年
- 「R・D・パトナム『政治家の信条構造——イギリスとイタリアにお
けるイデオロギー・紛争・民主主義』(書評)
甲南法学一七巻四号 一九七七年
- 「ルイジ・グラティアーノ『恩顧主義 (Clientelism)』研究の概念枠
組」(翻訳)
甲南法学一八巻三・四号 一九七八年

- 「フィリップ・C・シュミター『いまだにコーポラティズムの世紀なのか』(翻訳)
甲南法学三三卷一号 一九八二年
- 「チャールズ・P・ヘンリー『アメリカ黒人の文化と政治』(翻訳)
明石書店 一九九三年
- 「ジェイムズ・ジュニングス『ブラック・エンパワメントの政治』
ミネルヴァ書房 一九九八年
- (翻訳)
- 「中野実『宗教と政治』(書評)
週刊東洋経済七月二五号 一九九八年
- 「オランダの官僚機構」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「オランダの議会」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「オランダの政治」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「オランダの政党」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「オランダの選挙」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「オランダの地方自治」(事典執筆)
『政治学事典』(弘文堂) 二〇〇〇年
- 「ロバート・パットナム『哲学する民主主義』」(翻訳)
N T T 出版 二〇〇一年
- 「スーザン・ローズハッカーマン『政治汚職・腐敗と民主主義』」
阪大法学五三卷一号 二〇〇三年
- (翻訳)
- 「ドナテッラ・デッラ・ポルタ、アルベルト・ヴァヌッチ『盗賊支配』」(翻訳)
阪大法学五三卷二号 二〇〇三年
- (翻訳)
- 「デイヴィッド・O・シアーズ、P・J・ヘンリー『象徴的人種主義』」(翻訳)
『ハンドブック政治心理学』 二〇〇三年
- (翻訳)
- 「ヴァージニア・サビロ『ジェンダーと政治心理学』」(翻訳)
『ハンドブック政治心理学』 二〇〇三年
- 「ロバート・D・パットナム『社会資本と公的生活』」(翻訳)
『ハンドブック政治心理学』 二〇〇三年
- 「クリスティン・R・モンロー『合理的選択と「パースペクティヴ」理論』」(翻訳)
『ハンドブック政治心理学』 二〇〇三年

- 「ロバート・E・レーン『何のための政治心理学か』」(翻訳) 二〇〇三年
- 「デヴィッド・G・ウインター『政治心理学の未来——新たな学問基盤と学際的方法』」(翻訳) 二〇〇三年
- 「ゲア・ルンデスタッド『ヨーロッパの統合とアメリカの戦略』」(翻訳) 二〇〇五年
- 「猪口孝『国民』意識とグローバリズム」(書評) 二〇〇五年
- 「シダ・スコッチポル『失われた民主主義——メンバーシップからマネージメントへ』」(翻訳) 二〇〇七年
- IV 学会報告・座談会・講演会
- 「現代アメリカにおける政治的社会化の一断面」(報告) 一九八二年
- 「A Preliminary Work for Comparative Political Clientelism」(比較欧州政治六回夏期セミナー報告) 一九八四年
- 「クライエントリズムの政治文化的背景」(報告) 一九八六年
- 「法にながでできるか——法の現在と未来」(座談会) 一九九〇年
- 「メデア政治のアメリカ的展開とアメリカ・モデルの限界」(第一五回アメリカ研究札幌クールセミナー報告) 一九九四年
- 「Clientelism and Corruption」(比較政治プロジェクト「政治変動の研究——日本・イタリヤ比較」報告) 一九九八年
- 「テレビと政治」(講演) 一九九九年
- 「政局の行方と日本型政治の特質」(講演) 一九九九年
- 「アメリカ政治文化寸描」(報告) 二〇〇一年
- 「伝統と改革の市民的構造——Terza Italia から長野へ」(講演) 二〇〇二年
- 「政治と言語」研究のための備忘録」(報告) 二〇〇三年
- 「ハンドブック政治心理学」 二〇〇三年
- 「ハンドブック政治心理学」 二〇〇三年
- NTT出版 二〇〇五年
- レヴァイアサン三七号 二〇〇五年
- 慶應義塾大学出版会 二〇〇七年
- 日本政治学会 一九八二年
- 欧州大学院大学 一九八四年
- 日本政治学会 一九八六年
- 法学セミナー三五巻四号 一九九〇年
- 北海道大学 一九九四年
- フランス国際調査研究センター 一九九八年
- 日本監査役協会関西支部 一九九九年
- 芦屋川カレッジ 一九九九年
- 関西政治史研究会 二〇〇一年
- 芦屋市立公民館講座 二〇〇二年
- 「政治と言語」研究会 二〇〇三年

「政治学とは何か、政治学をどう教えるか」(報告)
「変貌する有権者をどうとらえるか」(講演)

「メンバーシップからシンボリック・アナリストへ」(研究プロジェクト)
「グローバリゼーションと市民社会」(報告)

「社会資本 (social capital) と民主主義」(講演)
「社会資本・信頼と民主主義」(報告)

「政治学の展望」(報告)

「日本再生の行方は——〇九年総選挙を踏まえて」(講演)

「エンパワーメント論の切り出し方」(報告)

「グローバリゼーションのなかで市民社会を賦活する」(研究プロジェクト)
「グローバリゼーションと市民社会」(報告)

「ジェイン・ジェイコブズ」『アメリカ大都市の死と生』(講演)

「日本の政治状況について——政治学的考察」(講演)

「震災復興・減災の政治社会学」——『社会資本 (social capital)』論から考える」(報告)

V その他

「学会報告：現代アメリカにおける政治的社会的の一断面」(日本政治学会編『年報政治学』)

「『五目飯』の毎日です」

「学会報告：クライエントリズムの政治文化的背景」(日本政治学会編『年報政治学』)

日本政治学会 二〇〇四年

市区町村明るい選挙推進協議会組織・活性化研究会 二〇〇五年

国際高等教育研究所 二〇〇七年

大阪大学中之島講座 二〇〇七年

日本政治学会 二〇〇八年

日本学術会議第一部夏季部会 二〇〇九年

神戸新聞マーケティングフォーラム 二〇〇九年

関西大学政治・経済研究所 二〇〇九年

国際高等教育研究所 二〇一〇年

大阪大学中之島講座 二〇一〇年

神戸専門家フォーラム 二〇一二年

日本政治学会 二〇一二年

岩波書店 一九八三年

『甲窓』二七号 一九八五年

岩波書店 一九八七年

「ひょうご九二参院選——資金集めも四苦八苦（コメント）」
「International Sense」(7)何か

毎日新聞 一九九二年六月一七日朝刊
甲南学園国際交流センター 一九九三年
NEWSLETTER 1号

「政局をこう読む（コメント）」

神戸新聞 一九九四年四月二三日朝刊

「学界展望…一九九三年政治学・政治理論」（日本政治学会編『年報政治学』）

岩波書店 一九九四年

「センター・オブ・エクセレンスを目指す」

日本私立大学連盟『大学時報』四三卷一九九四年

「九六年総選挙——『住民投票』の意識を持って（論点）」

毎日新聞 一九九六年一〇月一八日朝刊

「最後の総督——このまま忘れ去られるのか？」

週刊アスキー創刊号 一九九七年

「戸惑いつつ選んだ有権者（論点）」

神戸新聞 一九九七年一〇月二七日朝刊

「孤独死を放置する政治の貧困さ（論点）」

毎日新聞 一九九八年一月一七日朝刊

「被災者支援法案参院提出——またも、政治家と官僚で決着（論点）」

毎日新聞 一九九八年四月二二日朝刊

「九八年参院選…それでも投票しませんか——育たぬ政党との一体化（コメント）」

朝日新聞 一九九八年六月一八日朝刊

「漂う学生——どうゲット（コメント）」

神戸新聞 一九九八年七月一日朝刊

「九八年参院選——市民的価値を持ち投票を（論点）」

毎日新聞 一九九八年七月九日朝刊

「政治問う学生たちのパワー（論点）」

朝日新聞 一九九八年七月一三日朝刊

「テレビが政治を変える——あなたも『創造的に参加』しよう（論点）」

毎日新聞 一九九八年九月一八日夕刊

「議長はなぜ『二身上の理由』で交代するのか（論点）」

毎日新聞 一九九九年三月九日朝刊

「『しがらみ』脱した有権者（論点）」

毎日新聞 一九九九年四月一三日朝刊

「総裁選にみる自民党——『頼む派』破った『訴える派』（論点）」

中日新聞 二〇〇〇年五月二日夕刊

「与党『吊い合戦』狙う——同情票集まらぬ（コメント）」

毎日新聞 二〇〇〇年五月一五日朝刊

- 「団塊一〇〇人アンケート」を読む——反体制的な思い今も…調査結果から(論点)」
朝日新聞 二〇〇〇年六月三日朝刊
- 「総選挙と有権者(論点)」
毎日新聞 二〇〇〇年六月一〇日朝刊
- 「もっと広報する必要——今春引越した人ご注意(コメント)」
朝日新聞 二〇〇〇年六月二〇日夕刊
- 「投票に行こう——短期的な利益より未来への想像力へ(論点)」
中日新聞 二〇〇〇年六月二一日夕刊
- 「一票を行使する自覚(論点)」
西日本新聞 二〇〇〇年六月二二日夕刊
- 「二〇〇〇の選択・総選挙——学生に投票意欲、六五%『無党派層』(コメント)」
朝日新聞 二〇〇〇年六月二三日朝刊
- 「二〇〇〇の選択・総選挙——数の論理に不満うっ積(論点)」
朝日新聞 二〇〇〇年六月二四日朝刊
- 「総選挙にみる自民党——明暗分けた総取り方式(論点)」
中日新聞 二〇〇一年五月二日夕刊
- 「すべては政治的行為のもので生まれてきたものがある」
HANDAI WALKER 五〇〇号 二〇〇一年六月二五日朝刊
- 「都議選、自民復調——参院選への反映は疑問(コメント)」
朝日新聞 二〇〇一年七月二三日朝刊
- 「有権者三〇人に聞く《不安と不満、どう一票》(論点)」
朝日新聞 二〇〇一年八月二日夕刊
- 「生活を支える法整備早急に(論点)」
毎日新聞 二〇〇一年八月二日夕刊
- 「中高年向け企業体験制——人間関係のケア必要(コメント)」
毎日新聞 二〇〇二年一月四日夕刊
- 「統一地方選、若手の声届けようよ——既成政党・高齢者に刺激(コメント)」
朝日新聞 二〇〇三年一月二四日朝刊
- 「マニフェストの活用——支持政党以外も読み比べよう(論点)」
毎日新聞 二〇〇三年一月二八日夕刊
- 「投票には行く——でも過半数が無党派(コメント)」
毎日新聞 二〇〇三年一月七日朝刊
- 「無党派の審判は——深刻な不況響く(論点)」
朝日新聞 二〇〇三年一月一〇日夕刊
- 「土井党首辞任——再建中に無責任(コメント)」
朝日新聞 二〇〇三年一月一三日夕刊
- 「活発な政策論争を(論点)」
朝日新聞 二〇〇三年一月二二日朝刊

- 『関心持つて』江本さん知事選に名乗り (コメント) 読売新聞 二〇〇三年一月二二日朝刊
- 『投票率アップに苦肉の策——若者の政治離れ 愛着のなき原因 (コメント)』 日本経済新聞 二〇〇三年一月二二日夕刊
- 『Summary of Discussion of Workshop Two, Section I: Social Science』 Proceedings of the Kyoto Summer Seminar, July 25-July 27, 2002. 二〇〇三年
- 『おおよか決戦〇四知事選 (コメント)』 朝日新聞 二〇〇四年二月一日朝刊
- 『『西川豊』一〇〇万どう動く…江本氏立候補表明——問題真剣に語れ (コメント)』 朝日新聞 二〇〇四年六月一五日朝刊
- 『『乱』の要素も見える (論点)』 毎日新聞 二〇〇四年六月二四日夕刊
- 『二〇〇四年参院選——四〇・五〇代が台風の日 (論点)』 朝日新聞 二〇〇四年七月一日朝刊
- 『変心低頭バジジ命——公明の発言力さらに強まる (コメント)』 朝日新聞 二〇〇五年四月二五日朝刊
- 『突風夏の陣〇五総選挙——有権者の関心は (論点)』 朝日新聞 二〇〇五年八月二日朝刊
- 『大阪市長選期日前投票伸び悩み (コメント)』 朝日新聞 二〇〇五年十一月二三日朝刊
- 『東洋町長辞意——避けられた事態・出直し選に疑問 (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年四月五日朝刊
- 『おおよか〇七統一選挙——『夕張』見据え負託を (論点)』 朝日新聞 二〇〇七年四月一八日朝刊
- 『新幹線新駅中止へ——選挙が機能した (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年五月一〇日朝刊
- 『お笑い票どこへオチつく (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年六月九日夕刊
- 『NOVA擁護経産相にも——利益誘導目的疑われても当然 (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年六月二二日朝刊
- 『また逆風喚く自民——世論に影響大・時期も悪く (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年七月四日朝刊
- 『国政の対決色・相乗りに逆風 (コメント)』 朝日新聞 二〇〇七年一月三日朝刊
- 『『橋下色』無党派層染めた——若さ・可能性で選択 (コメント)』 朝日新聞 二〇〇八年一月二八日朝刊
- 『政治資金・医療業界から一四億円——医療費の一部還元 (論点)』 東京新聞 二〇〇八年九月一三日朝刊

- 「引退もサブプライズ——美意識働いたか (コメント)」
朝日新聞 二〇〇八年九月二六日朝刊
- 「政権選択ひょうご〇九夏・総選挙——国民『主役』になれる機会 (論点)」
朝日新聞 二〇〇九年八月二九日朝刊
- 「小泉チルドレン総崩れ——『風』ではない勝利 (論点)」
毎日新聞 二〇〇九年八月三二日朝刊
- 「神戸市長選に見た与党・民主のほころび (コメント)」
毎日新聞 二〇〇九年一月一九日朝刊
- 「首相聴取なく幕引き——裕福な家、あり得る (コメント)」
朝日新聞 二〇〇九年二月二五日朝刊
- 「大阪市議補選・知事『都構想を支持』——現状打破を期待 (コメント)」
毎日新聞 二〇一〇年五月四日朝刊
- 「二〇一〇年参院選——国のかたちの見極めを (論点)」
朝日新聞 二〇一〇年七月一〇日朝刊
- 「『熟議』欠如に国民失望 (論点)」
毎日新聞 二〇一〇年七月二日朝刊
- 「国会ネット観戦急増——政治矮小化のおそれも (コメント)」
朝日新聞 二〇一一年一月一四日朝刊
- 「『都構想』論争、最後まで——具体論、見極めて (コメント)」
朝日新聞 二〇一一年四月一〇日朝刊
- 「橋下維新風やまず (コメント)」
産経新聞 二〇一一年四月一日朝刊
- 「菅首相退陣の意向——よい判断 (コメント)」
毎日新聞 二〇一一年六月二日夕刊
- 「定数二一減維新案成立——議論の省略、今後も心配 (コメント)」
朝日新聞 二〇一一年六月四日夕刊
- 「討論放送中 NOW ON AIR! ——対立軸が鮮明 (コメント)」
朝日新聞 二〇一一年一月二五日朝刊
- 「大阪市議会変化の芽——分かりやすさ必要性痛感か (論点)」
朝日新聞 二〇一一年二月一七日夕刊
- 「乱流総選挙@大阪——投票率六〇%前後か (論点)」
朝日新聞 二〇一二年二月七日朝刊

中尾敏充教授 略歴

昭和二四年	二月二二日	三重県に出生
昭和四八年	三月	大阪大学経済学部経済学科卒業
昭和五〇年	三月	大阪大学大学院法学研究科修士課程修了
昭和五五年	三月	大阪大学大学院法学研究科博士課程中途退学
昭和五七年	四月	近畿大学法学部講師
昭和五七年	七月	大阪府公文書館問題専門家研究会小委員会委員（昭和五八年三月まで）
昭和六一年	四月	近畿大学法学部助教
平成 四年	四月	大阪大学法学部助教
平成 七年	三月	大阪大学法学部教授
平成 一一年	四月	大阪大学大学院法学研究科教授
平成 一一年	八月	大阪大学評議員（平成一四年三月まで）
平成 一一年	九月	大阪府泉北郡忠岡町個人情報保護審査会委員（現在に至る）
平成 一三年	一〇月	大阪府豊能郡豊能町個人情報保護審査会委員（現在に至る）
平成 一六年	一〇月	大阪大学評価・広報室室員（平成二〇年三月まで）
平成 一六年	四月	大学基準協会平成一六年度専門評価分科会法学系第二委員
平成 一八年	五月	大学基準協会平成一八年度全学評価分科会第一七群委員
平成 二〇年	五月	大阪大学大学院法学研究科長・法学部長（平成二四年三月まで）
平成 二〇年	四月	大阪大学教育研究評議会評議員（平成二四年三月まで）
平成 二〇年	四月	大阪大学経営協議会委員（平成二四年三月まで）
平成 二〇年	六月	大阪大学定年退職
平成 二五年	三月	大阪大学名誉教授
平成 二五年	四月	奈良大学教養部教授
平成 二五年	四月	

主要著作目録

I 著書

(共編著)

『史料 日本近代法』

『近代日本地方自治立法資料集成1 (明治前期編)』

『近代日本地方自治立法資料集成2 (明治中期編)』

『近代日本地方自治立法資料集成3 (明治後期編)』

『近代日本地方自治立法資料集成4 (大正期編)』

『近代日本地方自治立法資料集成5 (昭和戦前期編)』

『日本近代法制史研究の現状と課題』

『日本現代法史論』

(分担執筆)

『新版 法学入門』

『高槻市史』第二卷本編II

『新修 大阪市史』第五卷

『日本近代法 120講』

『日本近代法論』

『新修 大阪市史』第六卷

『図説 判決原本の遺産』

『新・日本近代法論』

『日本近代法案内』

法律文化社

弘文堂

弘文堂

弘文堂

弘文堂

弘文堂

弘文堂

法律文化社

青林書院

高槻市

大阪市

法律文化社

法律文化社

大阪市

信山社

法律文化社

法律文化社

昭和五八年

平成三年

平成六年

平成七年

平成八年

平成一〇年

平成一五年

平成二二年

昭和六〇年

昭和六〇年

平成三年

平成四年

平成六年

平成六年

平成一〇年

平成一四年

平成一五年

『ファンダメンタル地方自治法』

『新修 豊中市史 通史二』第二卷

法律文化社

豊中市

平成一六年
平成二三年

II 論説

「内務省設置以後における地方勤業法制の展開——大阪府を事例とする一考察——」

阪大法学一〇九号

昭和五三年

「明治前期における地方勤業法制の展開——大阪府を事例とする一考察——」

ヒストリア八一号

昭和五三年

「日本近代国家形成期の地方勤業法制」

日本史研究二三五号

昭和五七年

「日清『戦後経営』と地方勤業法制——第四次・第五次勤業会設置の意義を中心に——」

日本近代法制史研究会編『日本近代
国家の法構造』（木鐸社）

昭和五八年

「一八八四（明治一七）年改正徴税機構の特徴とその意義」

阪大法学一三三・一三四号

昭和六〇年

「一八九六（明治二九）年営業税法の制定と税務管理局官制」

近大法学三九卷一・二号

平成三年

「一九〇二（明治三五）年税務監督局・税務署官制の意義」

阪大法学四二卷三・四号上巻

平成四年

「非常特別税法の継続化と税制整理（一）」

阪大法学四五卷六号

平成八年

「市制町村制の制定と徴税機構の整備」

阪大法学四九卷三・四号

平成一一年

「非常特別税法の継続化と税制整理（二）」

阪大法学五一卷四号

平成一三年

「日本の近代化と法の役割——西欧近代法の主体的・選択的・変容的継受の前提——」

適塾四五号

平成二四年

III 書評

(書評)

後藤正人「紀州民権派の憲法・法律研究と権利運動——猛山学校と実
学社を中心に——」(和歌山大学紀州経済史文化史研究所紀要第二
号) 法制史研究三三号 昭和五九年

同 「和歌山県と植木枝盛——『植木枝盛日記』をてがかりとし
て——」(和歌山地方史研究第四号) 法制史研究四〇号 平成三年

福島正夫『日本資本主義の発達と私法』(東京大学出版会)
林由起子「瑞穂村の成立——明治九年愛知県における村の合併——」
(東海地域文化研究創刊号) 法制史研究四一号 平成四年

吉井蒼生夫『近代日本の国家形成と法』(日本評論社)
法律時報六八卷一一号 平成八年

(共同書評)
高柳真一・藤田勇編『資本主義法の形成と展開三 企業と営業の自
由』(東京大学出版会) 社会科学研究二五卷三三号 昭和四九年

利谷信義・吉井蒼生夫・水林彪編『法における近代と現代』(日本評
論社) 法律時報六六卷八号 平成六年

IV 学会報告等

「内務省創設期における地方勸業法制の展開——大阪府・和歌山県法
令を一事例として——」 法制史学会 昭和五三年

「明治前期における地方勸業法制の展開」 大阪歴史学会 昭和五三年
「日本近代国家形成期の地方勸業法制」 日本史研究会 昭和五六年

「殖産興業政策の転換と地方勸業法制——明治一〇年代後半期における——」

法制史学会

昭和五七年

「日清『戦後経営』と税務管理局官制の制定」

法制史学会

昭和五九年

「日本の近代化と法の役割」

台湾国立政治大学法学院

平成二三年

「日本の近代化と法の役割——西欧型近代法の主体的・選択的・変容的継受の前提——」

大阪大学適塾記念センター

平成二四年

V その他

『新法学辞典』（分担執筆）

日本評論社

平成三年

『事典 家族』（分担執筆）

弘文堂

平成八年

『新版 日本史辞典』（分担執筆）

角川書店

平成八年

一九九六年学界回顧・日本法制史（近代）

法律時報六八卷二三号

平成八年

一九九七年学界回顧・日本法制史（近代）

法律時報六九卷二三号

平成九年

一九九八年学界回顧・日本法制史（近代）

法律時報七〇卷二三号

平成一〇年

「シネマ・法学入門（一九） 脱税の果ては？——国税局査察官の闘い——『マルサの女2』」

法学教室二一七号

平成一〇年

『ペイシック 法学用語辞典』（分担執筆）

有斐閣

平成一三年

「聞き書き・わが国における法史学の歩み（四）——山中永之佑先生にお聞きする——」（共著）

同志社法学五七巻二号

平成一七年

「大久保昌一名誉教授に聞く——大阪大学の思い出——」（共著）

大阪大学経済学五九巻二号

平成二一年

『明治時代史大辞典 1 あゝこ』（分担執筆）

吉川弘文館

平成二三年

「中野貞 一名誉教授に聞く——大阪大学の思い出——」（共著）

大阪大学経済学六〇巻四号

平成二三年

「川島慶雄名誉教授に聞く——大阪大学の思い出——」（共著）

大阪大学経済学六一巻二号

平成二三年

- 「山中永之佑名誉教授に聞く(二)」——大阪大学の思い出——」(共著)
 大阪大学経済学六二卷三号
 平成三三年
- 「山中永之佑名誉教授に聞く(二)」——大阪大学の思い出——」(共著)
 大阪大学経済学六一卷四号
 平成三四年
- 「松岡博名誉教授に聞く(二)」——大阪大学の思い出——」(共著)
 大阪大学経済学六二卷一号
 平成三四年
- 「松岡博名誉教授に聞く(二)」——大阪大学の思い出——」(共著)
 大阪大学経済学六二卷二号
 平成三四年